

教育の基本計画

1 第3次松本市教育振興基本計画

(1) 「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向けて

ア 策定の趣旨

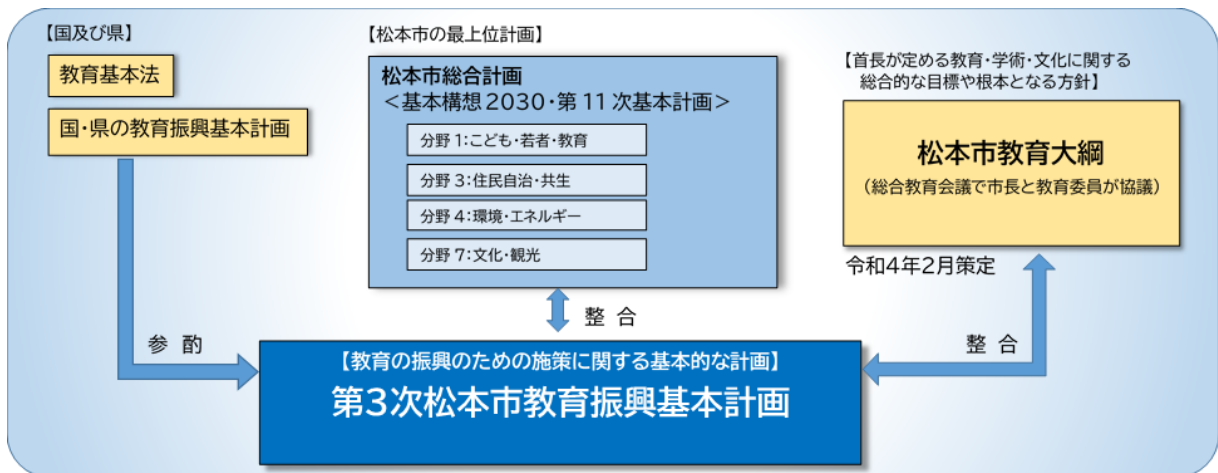
令和4年6月、松本市の教育の目指すべき方向性及び目標を明らかにし、その目標ごとの具体的な事業などを定めた第3次松本市教育振興基本計画「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を策定しました。

この計画は、『学びに、遊びや体験を。生涯を通じた学びを保障する松本まると学都構想』を具現化するため、各分野の方針ごとに【現状と課題】【施策の方向性】【主要事業一覧】の3つで構成されています。

急速に変化する社会情勢や、多様化する市民ニーズ（アンケート調査結果など）を踏まえて【現状と課題】を概括し、今後5年間の計画期間で特に重点的に取り組む【施策の方向性】を記載しています。また、【主要事業一覧】は、【施策の方向性】に関連する既存（令和3年度）の事業を一覧で掲載しています。

イ 位置付け

第2次計画の策定から5年が経過し、教育を取り巻く環境が目まぐるしく変化する状況の中、松本市の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策の目標や根本となる方針として、令和4年2月に市長が新たに教育大綱を策定しました。この教育大綱と整合を図り、市民アンケート等を基にして、これからの松本市の教育の目指す姿を見据え、新たに第3次の教育振興基本計画を策定しました。



(2) 基本的理念 ～子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本～

生きることは学ぶこと。学ぶことは生きること。

自分らしく生きるために欠かすことのできない学び。

そのためには、一人ひとりのいのちの尊厳が守られなければなりません。

すべての人が互いを認め合い、自分らしく生きていく、その権利を保障していく。

すべての人がさまざまな経験を積み重ね、自分らしい学びを深めていく、その機会を保障していく。

松本市は「子どもの権利に関する条例」を制定し、「すべての子どもにやさしいまち」を目指しています。

子どもにやさしいまちは、すべての市民にとっても、魅力あるまちとなります。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていく。

子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていく。

松本市は、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を実現していきます。

(3) 特徴

ア 組織を横断する複合的な体系

第3次計画では、常に組織横断的な視点をもって各種事業を推進することを大切にしていきます。そこで、複数の担当課が一つの事業を連携・協働して推進する姿勢を複合的な体系図として示すこととしました。

イ 遊びや体験の重視

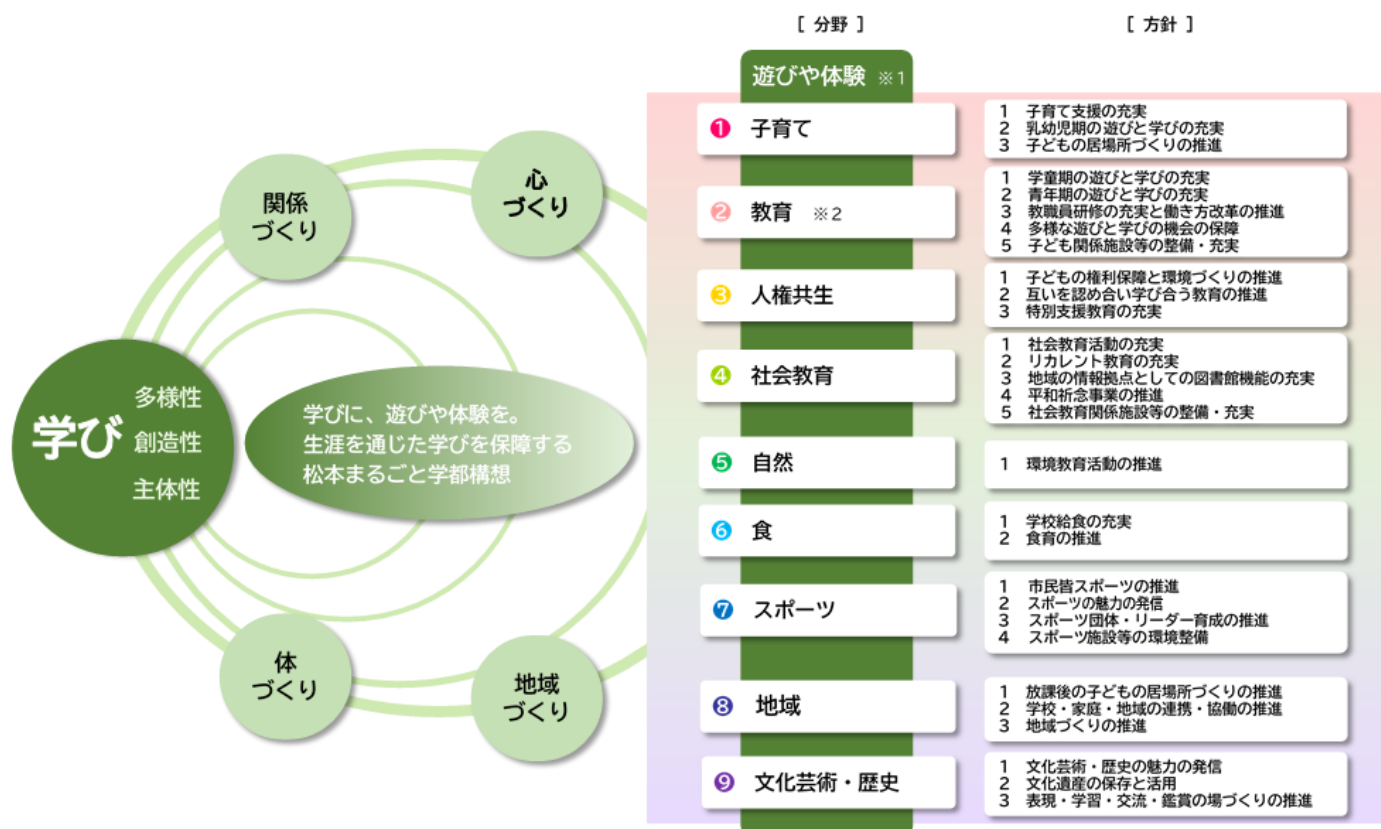
私たちは、学びを支える「楽しさ」を奪い、子どもにとっての豊かな学びの可能性を狭めてこなかったでしょうか。

学びを動かしていく原動力には、もっと知りたい、もっと深めたいという興味・関心や好奇心があります。

夢中になって遊ぶこと（遊育）。他者との関わりのなかで心を動かされること（情動）。

こうした経験の積み重ねが、学びに対する意欲を喚起し、多様性・創造性・主体性を育む資質や能力の育成につながっていくものと考えます。

そこで、第3次計画では、教育にかかわるすべての事業を、「遊び」や「体験」の要素を意識して推進していくこととしました。



2 松本市教育大綱

令和4年2月14日に総合教育会議を開催し、教育長及び教育委員との協議を経て、教育の目標や施策に関する根本的な方針として、市長が松本市教育大綱を策定しました。教育の具体的な計画は、教育大綱との整合を図り教育振興基本計画で定めています。

(1) 学都松本の主人公は子どもです

すべての子どもは、かけがえのない存在です。

すべての子どもは、自ら学び、成長していく力を持っています。

すべての子どもは、生まれ育った環境などに左右されることなく、学びの機会が保障されなければなりません。

すべての子どもが、健やかに成長していく。

すべての子どもが、自由に自分を表現していく。

すべての子どもが、身近な大人の支援を受けることができる。

そして、すべての子どもの違いが、「自分らしさ」として認められていく。

学都松本は、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

(2) 学都松本のシンカ

子どもは、さまざまな経験を通じて、日々成長していきます。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていきます。

そして、子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていくことを叶えていきます。

松本市は、「子どもを主人公とし、その学びを地域社会全体で支えること」を学都松本の根本に据え、先人たちが築き上げてきた礎のもと、「学都松本のシンカ」に挑んでいきます。

(3) 学びの3つの視点

子どもを主人公とする学都松本では、「多様性」「創造性」「主体性」を大切にしていきます。

この3つの視点には、「これからの社会を創る子どもたちに大切な価値として受け止めてほしい」という子どもへの期待と、「学びの環境を整え支えていく支援者の大人に常に心に留めてほしい」という大人への期待が込められています。

「多様性」一人ひとりの個性や能力を尊重した多様な学び

「創造性」未来を切り拓き、新しい価値を生み出す創造的な学び

「主体性」自己や他者と対話しながら、社会に参画する主体的な学び

3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(開始年度 平成21年度)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、毎年、教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をしています。

点検及び評価にあたっては、各課で年度末に事務事業の総括と自己評価を行い、外部意見を聴取したうえで教育委員会の改善方針をまとめ、市議会への報告と市ホームページへの公開をしています。外部点検及び評価については、松本市教育委員会事務点検評価委員会を設置し、当該委員会の委員の職務としています。

4 学都松本推進事業

(1) 趣旨

教育振興基本計画に基づく「学都松本」を実現するため、令和6年度までは学都松本推進協議会、令和7年度からは社会教育委員等との協議を通じて、市民協働で学都松本推進事業に取り組んでいます。あらゆる機会を捉えて「学都松本」を市民に周知し、生涯にわたる市民の学びの機会を広めるとともに、学びの環境づくりを進めています。

(2) 学都松本推進事業

平成24年度からメイン事業として学都松本フォーラムを開催してきましたが、令和5年度に、市民の日常の学びの充実を目指して「多様な連携」や「遊びや体験」による多彩な事業を通年で開催する形態に改めました。

年月日	種別	会場	内容
H24.9.2 (日)	第1回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 学都松本をめざして (2)予算 350 千円 (3)内容 基調講演・パネルディスカッション、展示 (13)、催事 (9) など (4)参加者 1,730 人
H25.9.7 (土) 9.8 (日)	第2回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 学びでつながる わたしたち ～共に学び、次代に引き継ぐために～ (2)予算 780 千円 (3)内容 基調講演・パネルディスカッション、展示 (12)、催事 (18)、同時開催イベント (子どもプレイパーク、サタデーコンサートなど) (4)参加者 1,180 人
H26.9.6 (土) 9.7 (日)	第3回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 日々の学びへの気づき (2)予算 1,020 千円 (3)内容 全体会 (委員長講話、松商放送部発表、トークセッション)、食育講演会、スポーツシンポジウム、展示・催事 (19)、同時開催イベント (4)参加者 1,943 人
H27.9.5 (土) 9.6 (日)	第4回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ “ひとり” から “みんな” の学びへ (2)予算 1,450 千円 (3)内容 基調講演会：池上彰氏「学び続ける力、伝える力」、食育講演会、語り場、催事展示(22)、食と学びのブース(7)、同時開催イベント (4)参加者 2,703 人
H28.9.3 (土) 9.4 (日)	第5回学都松本フォーラム	あがたの森文化会館など	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい！ ～ふくらむ つながる ひろがる～ (2)予算 1,320 千円 (3)内容 基調講演会：高橋源一郎氏 (100 年後の14 歳へ贈る「ことば」)、食育講演会、分科会(7)、催事展示、食と学び含む(37)、同時開催イベント (4)参加者 2,577 人

H29.9.2 (土) 9.3 (日)	第 6 回 学 都 松 本 フ ォーラム	あがた の森文 化会館 など	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい！ (2)予算 1,270 千円 (3)内容 基調講演会：天達武史氏（天気の人達が語る 学び 私が気象予報士をあきらめなかった理由）、分 科会(4)、催事展示 (21)、同時開催イベント (4)参加者 2,041 人
H30.9.22 (土) 9.23 (日)	第 7 回 学 都 松 本 フ ォーラム	Mウイ ング・ 中央体 育館	(1)テーマ 「学ぶ」って おもしろい！ (2)予算 1,320 千円 (3)内容 基調講演会：柳田理科雄氏（考えることは楽 しい、だから科学はおもしろい）、催事展示 (22)、同時開催イベント (4)参加者 1,036 人
R 元 9.21 (土) 9.22 (日)	第 8 回 学 都 松 本 フ ォーラム	Mウイ ング・ 中央体 育館	(1)テーマ どこにでも学びはある。 (2)予算 1,230 千円 (3)内容 基調講演会：今泉忠明氏（愛すべき“ざんね んないきもの”と進化）、催事展示 (18)、同時 開催イベント、第 1 回具だくさんみそ汁コンテ スト) (4)参加者 1,042 人
R2. 9.19(土) 9.20 (日)	第 9 回 学 都 松 本 フ ォーラム	あがた の森文 化会館	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中 止。「学都松本・教育 100 年を語る会」を 3 回開催（オ ンライン、動画配信によるもの）
R4. 2.12(土) ～2.20(日)の 休日	学 都 松 本 フ ォーラ ム 2022	勤労者 福祉セ ンター・オ ンライ ン	子どもが楽しめるオンライン型体験講座、子どもや大 人誰でも参加できるミニ講演会を開催。
R5. 2.19 (土) ～3.5(日)の休 日	学 都 松 本 フ ォーラ ム 2023	勤労者 福祉セ ンター ほか	(1)予算 300 千円 (2)内容 映画観賞会「夢みる小学校」、まち歩き（レト ロな建物、城下町、古写真）、ワークショップ（フ ラワーアレンジメント、毛糸ボンボン、紙ひこ うき、木の花、七夕人形） (3)参加者 268 人
R5.11.18(土) ～R6.3.2(土) までの 9 日間	令 和 5 年 度 学 都 松 本 推 進 事 業	博物 館 ほか	(1)予算 300 千円 (2)内容 まち歩き、施設見学、食育体験、映画観賞会、 講演会など 9 事業 (3)参加者 271 人
R6.5.18(土)～ R7.3.20(木)ま での 30 日間	令 和 6 年 度 学 都 松 本 推 進 事 業	博物 館 ほか	(1)予算 300 千円 (2)内容 文化財・施設見学、食育体験、映画観賞会、 講演会など 15 事業 (3)参加者 590 人